

H25 年度 KDN イベント 実施報告

1. イベント概要

(1) イベント名

ファザーリング全国フォーラム in 九州 分科会 10
「ダイバーシティで行こう！」

(2) 日時

平成 25 年 12 月 21 日 (土曜日) 10 時～11 時 30 分

(3) 場所

西日本総合展示場 新館 AIM ビル 3 階展示場・312 会議室
(北九州市小倉北区浅野 3-8-1)



2. 実施内容

(1) 実施方法

パネルディスカッション形式 90 分

(2) 登壇者

<コーディネーター>

アパショナータ 代表 パク・スックチャ 氏

<パネリスト>

ダイバーシティ西日本勉強会

パナソニック株式会社 多様性推進本部推進事務局 事務局長 松田聡子氏

中部ダイバーシティ Net

株式会社スズケン 人材開発部ワークライフバランス推進室 室長 富田麻子氏

北九州ダイバーシティ・ネットワーク

富士通コミュニケーションサービス株式会社 総務人事サービス部担当課長 藤野英明氏

(3) 申込参加状況 【定員 : 80 名】

事前予約申込者数	当日参加者数
54 名 (男性 30 名、女性 24 名)	50 名

(4) KDN メンバーの役割分担

役割	概要	KDN メンバー
全体取纏めフォロー	登壇者窓口、当日会場質問精査	高見さん
司会進行	挨拶、紹介、進行	西岡さん
書記	議事作成 (当日運営事務局提出)	小川さん
講師誘導	控室～会場までの誘導	大山さん、来米さん
受付	会場入り口での受付	田端さん、宮浦さん
P C 操作	投影 PC の操作	藤野さん (登壇兼)
質問票回収	開演中に質問票を参加者から回収	高松さん、楠田さん、胡さん
記録 (カメラ)	会場内での写真撮影	楠田さん、胡さん

(5) 実施内容 (当日の流れ)

※実施内容の詳細については、別途事務局提出の報告書参照のこと

時間	所要時間	項目	担当	内容	投影資料	
～ 9:57	9:57	開始前アナウンス (3分前)	司会 (西岡)	○受付案内 ○携帯電話 (マナーモード) への呼びかけ	ダイバーシティで行こう!	
9:57	～ 10:00	0:03	セミナー開始待ち時間			
10:00	～ 10:05	0:05	司会 (西岡)	○開会あいさつ (参加へのお礼) ○自己紹介 ○本日の概要 ○セミナー中の質問受付質疑応答説明 (ルール説明) ○モデレータ パク様ご紹介	民間について	
10:05	～ 10:15	0:10	パク様	自己紹介と「ダイバーシティ」についてのミニレクチャー (おまかせ)	ダイバーシティで行こう!	
10:15	～ 10:45	0:30	パネリスト紹介 松田様 スズケン 富田様 富士通CSL 藤田様	○自己紹介 ○各社の取組み (事例紹介) ○各ネットワークグループの紹介 ・企業の傾向 ・ネットワーク活動テーマ等	ダイバーシティ西日本勉強会 の紹介 中部ダイバーシティ・ネットワーク の紹介 北九州ダイバーシティ・ネットワー クの紹介	
10:45	～ 11:00	0:15	パク様 パネリスト	★ダイバーシティを推進するにあたって大切にしていること その課題、ネットワークの一員だからできたこと	テーマ① ダイバーシティを推進するために 大切にしていること	
11:00	～ 11:15	0:15	パク様 パネリスト	★職場と家庭それぞれのダイバーシティ 男性の家事・育児参加を進めるために行なっている取り組みな ど	テーマ② 職場と家庭 それぞれのダイバーシティ	
11:15	～ 11:25	0:10		質疑応答タイム 会場から送信された質疑応答を紹介、回答する。	質疑応答	
11:25	～ 11:29	0:04	まとめ	おまかせ	ダイバーシティで行こう!	
11:29	～ 11:30	0:01	締め	司会 (西岡) ○パク様、パネリストの皆さんへのお礼 ○終わりのご挨拶	ご参加ありがとうございました	

3. 当日の様子



雨天にも関わらず、たくさんの方が来場されました



西岡さんの司会、
素敵でした！

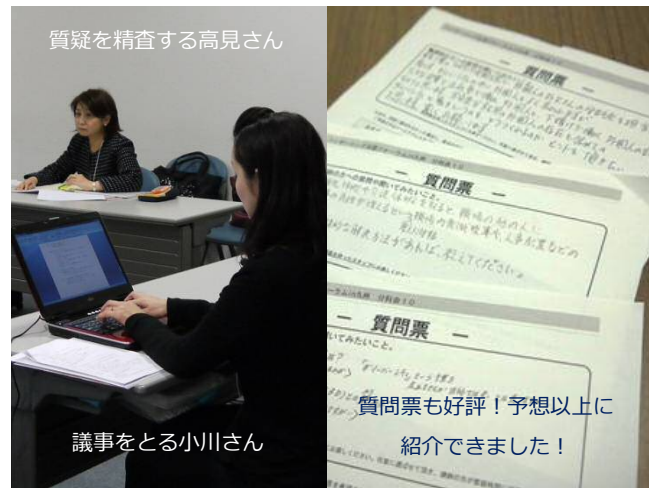
受付の田端さん、宮浦さん



左からバク様、松田様、富田様、KDN 藤野さん



藤野さん KDN 宣伝中。緊張の登壇、お疲れ様でした！



質疑を精査する高見さん

議事をとる小川さん

質問票も好評！予想以上に
紹介できました！



当日お手伝い頂いた皆さん、ありがとうございました！

4. 所感

- ・イベント班内では、殆どがメールによる打合せや連絡での準備～実施となったが、当日は大きなトラブルもなく、無事に運営することができた。
- ・雨天にも関わらず、たくさんの方にご参加いただき、大盛況で終えることができた。
- ・会場巻き込み型という観点から、挙手による質疑応答ではなく、質問票による質疑応答形式を取ったが予想以上に、質問票への記入、提出頂いた参加者が多かった。
- ・KDN 座談会冊子の配布は、KDN の広報的介绍にも繋がり、非常によかった。
- ・これまでにない大きなイベントの1枠として、H25年度のKDNイベントを実現できたことは今後の活動への自信に繋がった。

ご協力頂いた皆さん、本当にお疲れ様でした。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。(イベント班一同)

以上